2027年3月期第2四半期

決算説明資料

東急建設株式会社

東京証券取引所 プライム市場 証券コード 1720

2026年11月19日

東急建設株式会社

目次

01　業績進捗・通期見通し …… P.01
02　成長戦略 …… P.13
03　財務・資本戦略 …… P.24
04　Appendix …… P.28

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

2027年3月期第2四半期　決算説明会

業績進捗・通期見通し

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

業績進捗・通期見通し

足元の業績進捗と
通期達成に向けた前提

●上半期は利益改善が進展

建築の利益率改善により、営業増益。受注時採算も改善傾向が継続。

●通期予想を上方修正

利益率改善に伴い通期予想を上方修正。受注は通期予想に対し計画通り進捗。

長期経営計画の進捗

次の成長フェーズに向けた
取り組みと資本政策

●稼ぐ力の再構築が進展、コア事業を土台に成長投資・資本効率向上を推進

都市やインフラの更新など底堅い建設需要が続く。

再構築した収益基盤を土台に、資本効率を意識した経営を推進。

コア事業の収益力強化・戦略事業の成長を通じた持続的な成長を目指す。

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

稼ぐ力の再構築を土台に、新たな成長フェーズへ。
成長戦略・経営基盤強化により、持続的な企業価値向上を目指す。

長期経営計画“To zero, from zero.”

2021～2025 前半5年 → 2026 現在 → 後半5年 ～2030 VISION 2030

これまでの成果
成長軌道への回帰



稼ぐ力の再構築

今後の重点施策
成長戦略と経営基盤（人材・デジタル）の強化



コア事業の収益力強化



戦略事業の成長



人材・デジタル

目指す姿
持続的な企業価値の向上



持続的成長

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

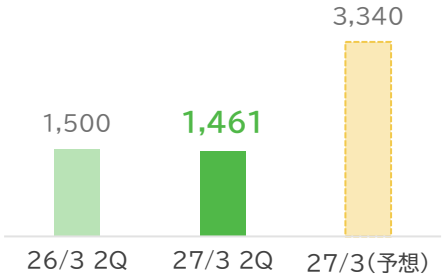
売上高
1,461億円
前年同期比　▲38億円(▲2.6%)
進捗率　43.8%

売上総利益
170億円
前年同期比　16億円(10.4%)
進捗率　41.1%

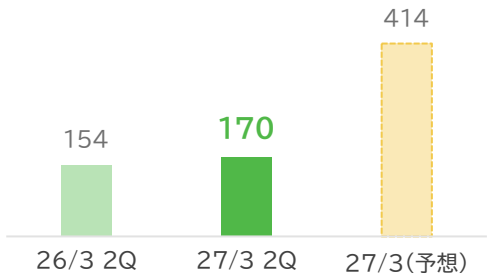
営業利益
56億円
前年同期比　4億円(9.4%)
進捗率　31.3%

親会社株主に帰属する中間純利益
38億円
前年同期比　▲2億円(▲5.5%)
進捗率　32.1%

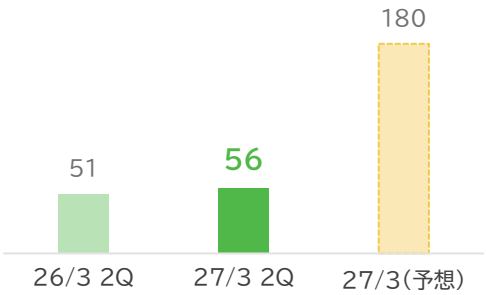
売上高　(単位:億円)



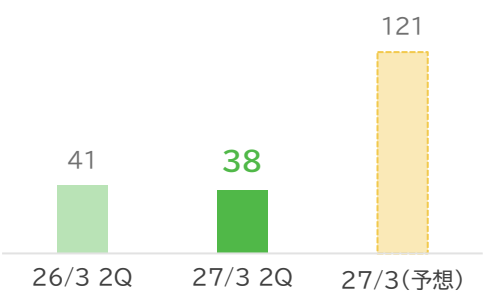
売上総利益　(単位:億円)



営業利益　(単位:億円)



親会社株主に帰属する中間純利益　(単位:億円)



Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

売上高は通期計画達成に向け、順調に進捗。
通期利益は期初予想値から上方修正。手持工事のさらなる採算改善を見込む。

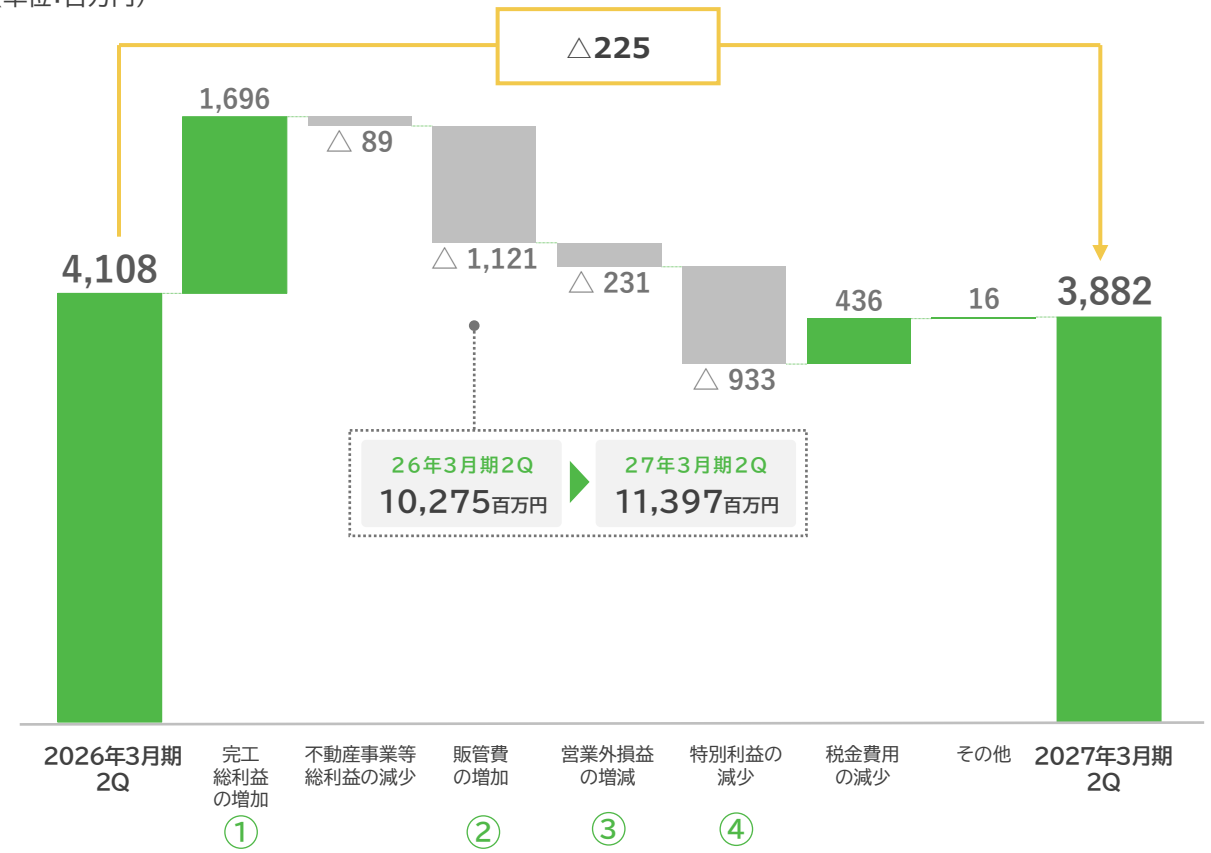
(単位:百万円)	2026年3月期 2Q 実績		2027年3月期 2Q 実績		前年同期比 (上段)増減額 (下段)増減率	2027年3月期 通期 修正予想(11/9公表)	期初予想比 (上段)増減額 (下段)増減率
売上高	150,073	—	146,191	—	△3,882 △2.6%	334,000	— —
売上総利益	15,422	10.3%	17,030	11.6%	+1,607 +10.4%	41,400	+2,600 +6.7%
販売費及び一般管理費	10,275	6.8%	11,397	7.8%	+1,121 +10.9%	23,400	+1,100 +4.9%
営業利益	5,146	3.4%	5,632	3.9%	+485 +9.4%	18,000	+1,500 +9.1%
経常利益	5,560	3.7%	5,814	4.0%	+253 +4.6%	18,300	+1,500 +8.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	4,108	2.7%	3,882	2.7%	△225 △5.5%	12,100	+1,100 +10.0%

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

親会社株主に帰属する中間純利益の増減要因

東急建設株式会社

（単位：百万円）



利益増減要因

①完工総利益

・竣工案件の利益改善

・手持工事の採算性改善

②販管費

・人件費、研究開発・デジタルの費用が増加

③営業外損益

・持分法における投資利益の減少

④特別利益

・固定資産売却益、投資有価証券売却益なし

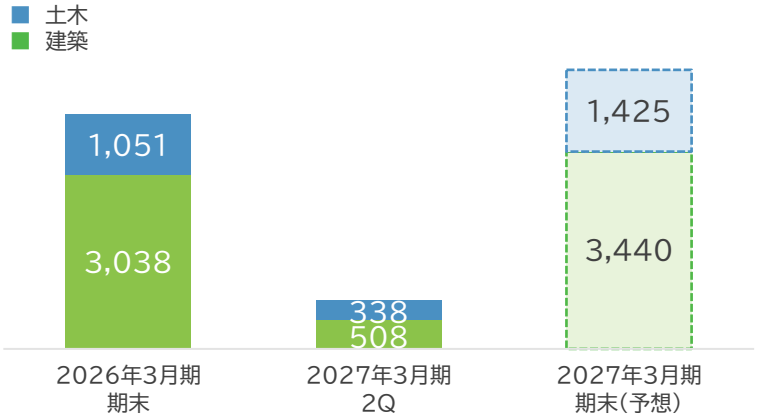
Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

受注高は計画通り進捗。主要内定案件は下期に集中。
繰越工事高の期末予想は過去最高を見込む。適正な施工体制で工事を着実に進める。

受注高の推移

（単位：億円）



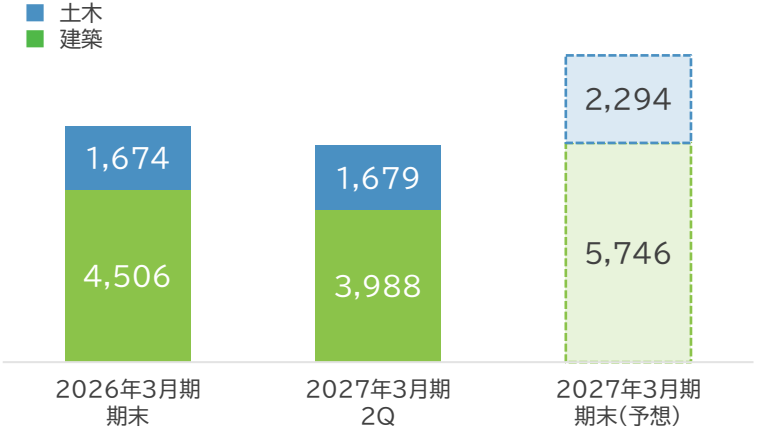
前年同期比

△712億円
（△54.3%）

通期進捗率
17%

繰越工事高の推移

（単位：億円）



前期末比

+1,860億円
（+30.1%）

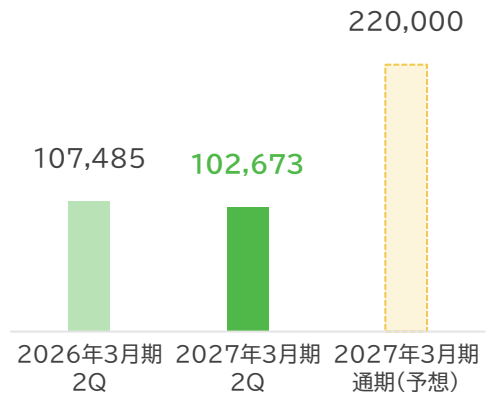
Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

完成工事高は計画通り進捗。今期は着工初期段階の工事が多いため、前期比で微減。受注時採算改善により、手持工事の採算性は前期に比べて総じて高い。

完成工事高

（単位：百万円）

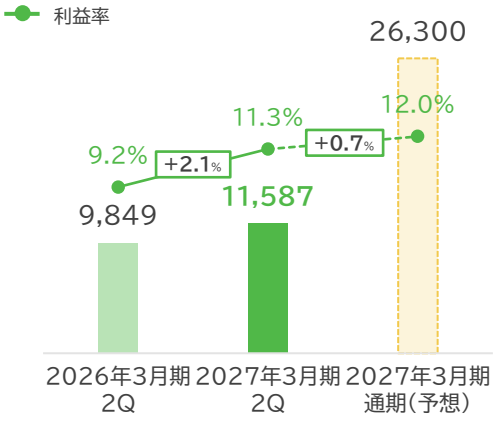


前年同期比
△4,811百万円
（△4.5%）

通期進捗率 47%

完成工事総利益／率

（単位：百万円）

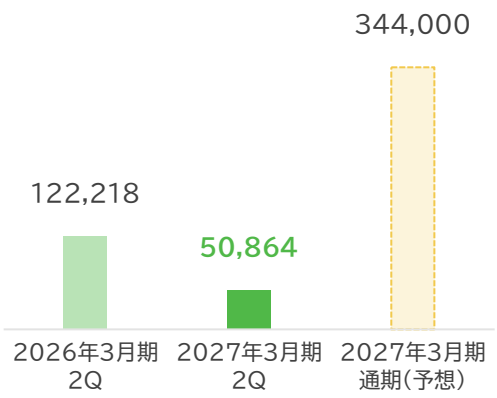


前年同期比
+1,737百万円
（+17.6%）

通期進捗率 44%

受注高

（単位：百万円）



前年同期比
△71,354百万円
（△58.4%）

通期進捗率 15%

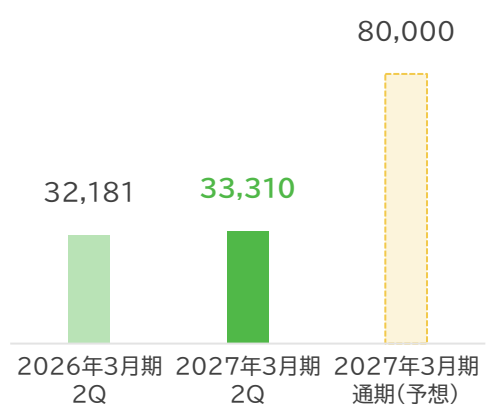
Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

完成工事高は計画通り進捗。通期では、前期比増収の800億円を見込む。
利益率は手持工事の採算性改善、追加・変更獲得により、通期で12.5%を見込む。

完成工事高

(単位:百万円)

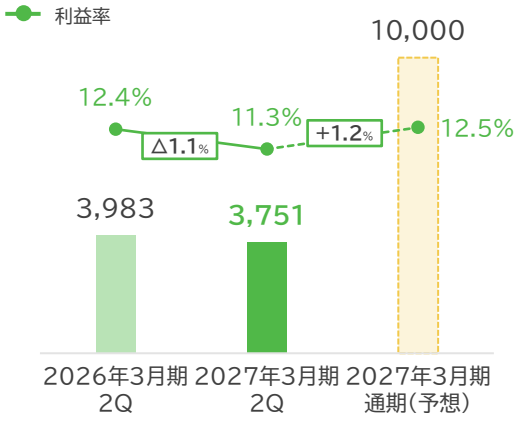


前年同期比
+1,128百万円
(+3.5%)

通期進捗率 42%

完成工事総利益／率

(単位:百万円)

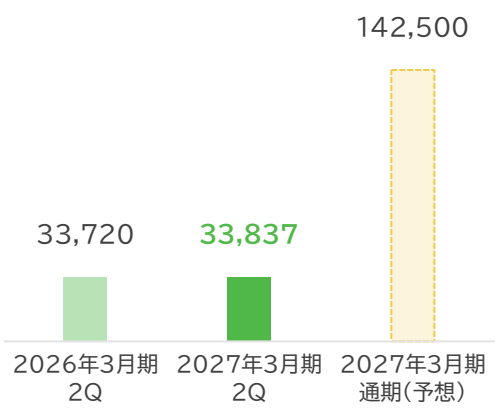


前年同期比
△231百万円
(△5.8%)

通期進捗率 38%

受注高

(単位:百万円)



前年同期比
+117百万円
(+0.3%)

通期進捗率 24%

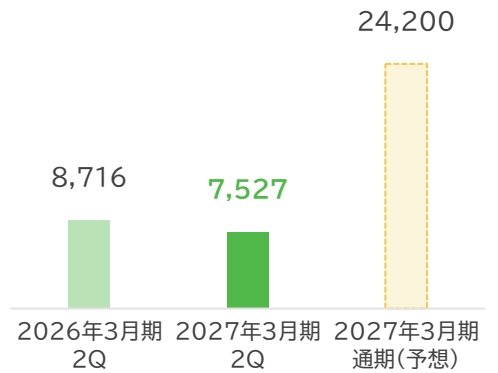
Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

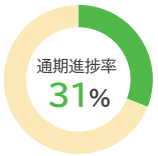
通期売上高は前期同水準の242億円を見込む。利益率は、前年同期比で3.2P改善。旺盛な需要が続く中、採算性と生産性を重視した受注活動を推進。

売上高

（単位：百万円）

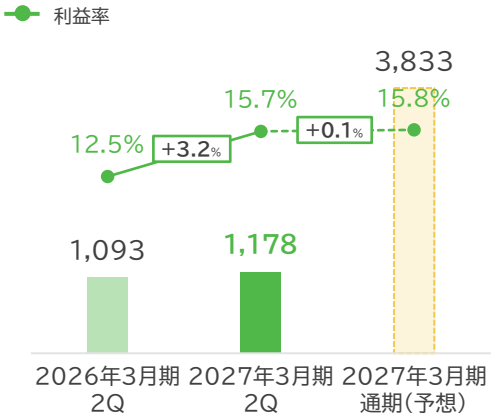


前年同期比
△1,188百万円
（△13.6%）

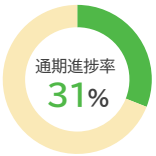


売上総利益／率

（単位：百万円）

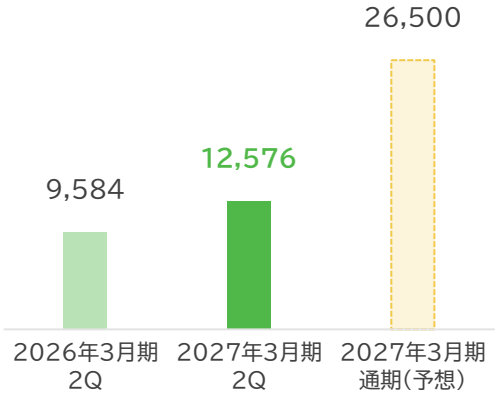


前年同期比
+85百万円
（△7.8%）

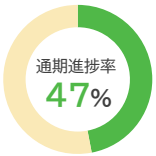


受注高

（単位：百万円）



前年同期比
+2,991百万円
（+31.2%）



※建築リニューアル事業は同事業を担う子会社「東急リニューアル㈱」の数値であり、内部取引消去は考慮しておりません

東急建設株式会社

不動産事業等売上高は、主に不動産事業・新規事業の売上高を含む。
下期に物件の売却を予定、通期では売上高70億円を見込む。

事業の位置づけ・足元の取り組み

不動産事業

開発・保有・売却等による
循環型不動産モデルを実現

新規事業

再エネ事業を中核に
新規事業創出を加速

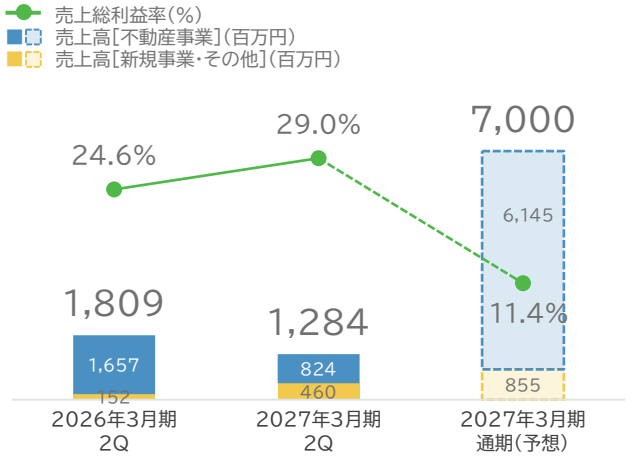
TQブランドの展開

TQ渋谷宇田川町（開発事業）
2025年4月竣工



2027年3月期2Q

売上高	売上総利益率
1,284百万円	29.0%



Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

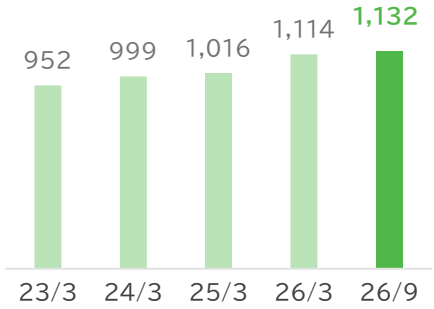
連結自己資本
1,132億円
前期末比　17億円(1.6%)

連結有利子負債
290億円
前期末比　▲70億円(▲19.5%)

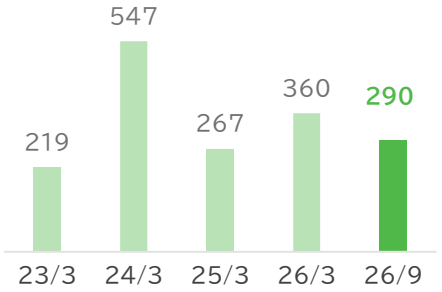
1株当たり配当金予想
43円(年間予想)
前期比　3円増配(予想)

ROE予想
10.4%
(2027年3月期予想)

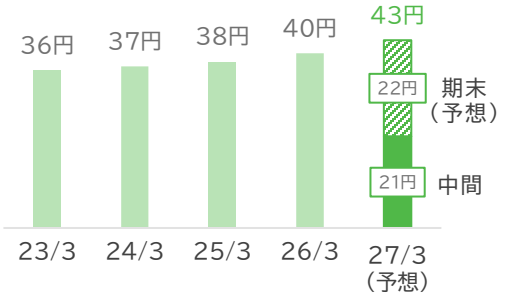
連結自己資本 (単位:億円)



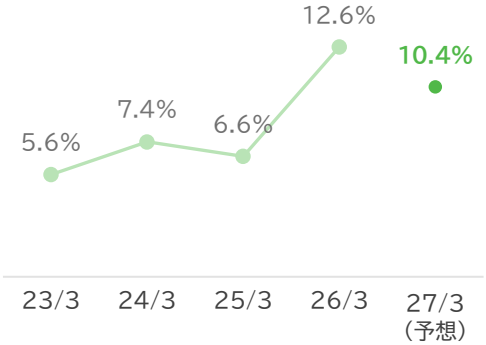
連結有利子負債 (単位:億円)



1株当たり配当金 (単位:円)



ROE (単位:%)

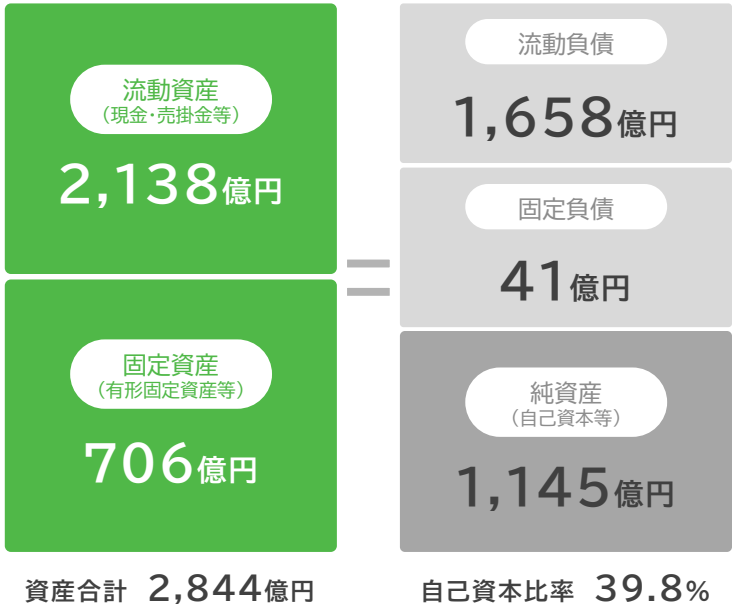


Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

自己資本比率は前期末比3.9ポイント上昇し39.8%。
キャッシュフローは売上債権減少等により資金が増加、資産取得などの投資を実行。

連結BS（バランスシート）

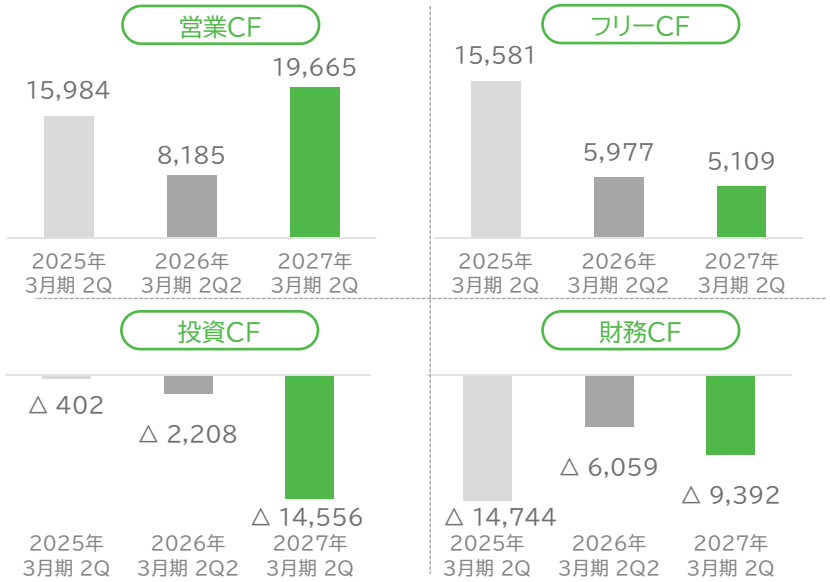


資産合計　2,844億円

自己資本比率　39.8%

連結CF（キャッシュフロー）推移

（単位：百万円）



Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

2027年3月期第2四半期　決算説明会

成長戦略

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

3つの提供価値を軸とした成長戦略を推進し、VISION2030の実現を目指す。

策定背景

- 国内建設需要の成熟化
- 担い手不足・生産性課題
- 脱炭素・循環・防災減災ニーズ
- 東急グループの都市開発基盤

3つの提供価値



競争優位の源泉

人材 × DX

提供価値を支える共通基盤

5つの重点戦略

1. 東急建設ブランド
2. コア事業の深化
3. 戦略事業の成長
4. 人材・組織戦略
5. 財務・資本戦略

5つの重点戦略を一体的に推進。社会的価値と経済的価値を創出し、企業価値の向上を図る。

事業展開

コア事業の深化

- 国内建築
- 国内土木
- 建築リニューアル

戦略事業の成長

- 国際
- 不動産
- 新規事業

VISION2030

0へ挑み、0から挑み、
環境と感動を未来へ建て続ける。

目指す姿

社会的価値

脱炭素・廃棄物ゼロ・防災減災

経済的価値

収益力・成長領域の拡大

企業価値向上

資本効率・市場評価の向上

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

長期経営計画の指標として、財務・非財務両面のKPIを設定。
社会に対する価値提供と持続的な企業価値向上を目指す。

KPI		2025年度 実績	2026年度 期初予想	2026年度 修正予想	2028年度 予想	2030年度 目標
収益性	営業利益	163億円	165億円	180億円	200億円以上	**220億円以上**
	営業利益率	4.8%	5.0%	5.4%	5.0%以上	**5.0%以上**
効率性	ROIC※1	9.2%	—	—	—	**7.0%以上**
	ROE	12.6%	9.7%	10.4%	10.0%以上	**10.0%以上**
健全性	D／Eレシオ	0.32倍	0.5倍以下			**0.5倍以下**
	自己資本比率	35.9%	40%程度			**45%程度**
非財務	従業員エンゲージメントレーティング※2	BBB	A		AA	**AAA**
	GHG排出量Scope1・2※3	52.1%削減	30.6%削減		39.2%削減	**47.9%削減**
	GHG排出量Scope3※3	52.2%削減	20.0%削減		25.0%削減	**30.0%削減**

※1 ROICについては、現状では収益力の回復に取組み、中長期的な目標水準として2030年度7.0%以上を目指すことを掲げております。
※2 株式会社リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」によるエンゲージメントレーティング。対象は子会社を含めたグループ全体の従業員。全11段階に分かれており、2025年度実績の「BBB」は、「AAA」「AA」「A」に次ぐ上位から4段階目のレーティング。
※3 2018年度基準としておりますが、2024年度以降のGHG排出量はSBT目標設定ガイダンス第2版1.5°C基準に基づき、目標数値を設定しています。

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

コア事業の深化と戦略事業の成長を両輪とする事業ポートフォリオの変革を推進。

コア事業

現場力・採算管理による投資原資の創出

- 国内建築事業
- 国内土木事業
- 建築リニューアル事業

成長の基盤	人材・DX 投資740億円（2026年5月ローリング）

国際事業

東南アジア・南アジアにおけるTOD（公共交通指向型開発）

不動産事業

循環型モデル

新規事業

再生可能エネルギー事業とオープンイノベーションによる事業機会の創出

戦略事業

新たな成長機会の創出

計画当初

戦略事業6%



事業ポートフォリオの変革

2030年度

戦略事業25%



VISION2030　本業が堅調な今こそ、次の成長基盤を仕込む好機

01. 稼ぐ力の再構築が進展
受注時採算の改善、低採算工事の一巡により、利益率改善が進む

02. 財務基盤を強化
利益改善により成長投資・株主還元を支える余力を確保

03. 一方で中長期課題へ対応が必要
人手不足、資材価格、生産性向上、脱炭素・都市更新需要への対応

東急建設株式会社

競争優位の源泉である人材・DXへ740億円を投じ、成長を支える経営基盤を強化。

INPUT 人材・DX投資

競争優位の源泉
（人材×デジタル技術）
への投資

スキルシフト、人材獲得など
人材ポートフォリオを見直す

2021年5月 長期経営計画	2026年5月 ローリング計画
100億円	740億円

*2021-2030年度の投資総額

PROCESS 3つの注力領域

01 人材の確保・育成
- 自律型人材の育成
- 専門人材・次世代リーダー育成

02 働き方改革・エンゲージメント
- 総労働時間の削減
- ビジョン対話・組織風土改革

03 DX・生産性向上
- BIM/CIM・4D技術
- 現場の省力化・効率化

OUTPUT 事業成長への貢献

コア事業の深化
- 施工力強化
- 生産性向上
- 採算改善

戦略事業の成長
- 専門人材活用
- 国際・不動産・新規領域

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

まちづくりで培った施工力と技術力を活かし、コア事業の成長を推進。
環境・脱炭素対応やインフラ更新・防災などの需要を捉え、事業機会を拡大。

コア事業

建築事業

事業の強み

- 渋谷再開発・東急線沿線で培った豊富な施工実績とノウハウ
- 冷蔵冷凍倉庫・データセンター等の成長分野に応用可能な大型物流施設の実績
- 超高層、大空間、木質、環境建築などの多用途への適応力

事業の機会

- 都市部における再開発需要の継続
- データセンター、物流、環境建築など成長分野の需要拡大
- 顧客の脱炭素・高機能化ニーズに応じた新技術採用の可能性
- 業界再編による成長機会の創出

建築リニューアル事業

事業の強み

- 改修工事への総合的な対応力（建築・設備・設計）
- 東急グループをはじめとする安定した顧客基盤
- 東急建設グループ内の技術連携
- 環境リニューアル工事の独自ソリューション（ZEBoT）

事業の機会

- 市場構造の転換（新築から維持・修繕・改修）
- 建築物の省エネルギー化やZEB化のニーズ拡大
- 防災・減災への社会的要請の高まり

土木事業

事業の強み

- 都市機能を止めない、難工事をやり切る組織力
- 鉄道運行を止めずに改良・リニューアル工事をやり遂げる現場力
- 防災・減災を軸とした社会インフラの強靭化・長寿命化技術

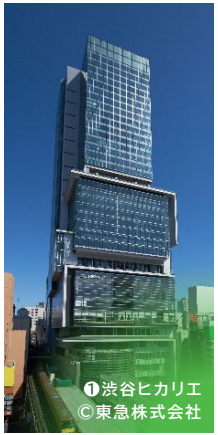
事業の機会

- 都市再開発や民鉄関連工事の継続的な増加
- 老朽化インフラの更新や防災・減災対策の加速
- 脱炭素やDX推進に伴う新インフラ整備需要

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

技術・ノウハウ、チームワークを活かし、難易度の高い渋谷の建設プロジェクトを遂行。
数多くの再開発事業が計画され、渋谷の今後のポテンシャルは大きい。









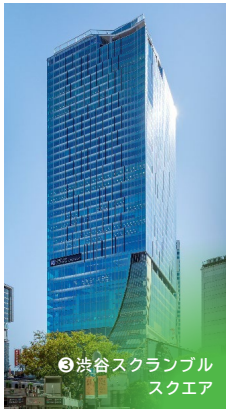




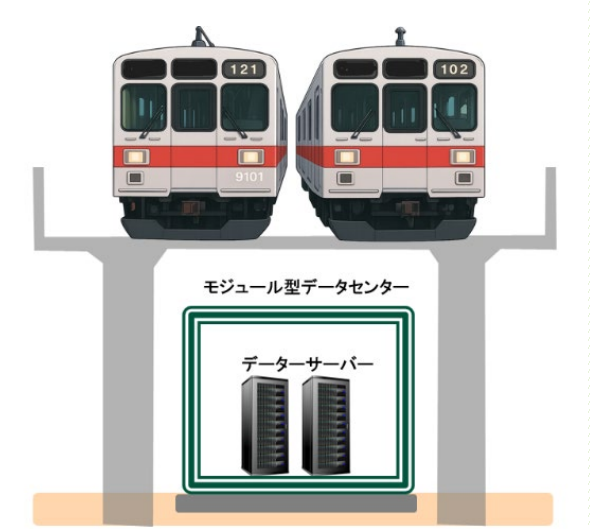

Image by Mir, Copyright Snøhetta and NIKKEN SEKKEI LTD

空撮写真のハイライトした建物やインフラが当社施工実績。地図は公表資料を元に当社にて作成。

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

グループ力を結集し、独自のビジネスモデルにより、収益性と事業基盤を同時強化。



背景・課題

生成AI・クラウド需要の急拡大により、データセンター建設投資が国内外で急増。一方、広域エリアでの大型案件が相次ぐ中、都市部の「低遅延・分散型」需要には大規模DCでは対応困難。

取り組み

東急グループの強み（高架下未利用地×光ファイバー網×電力）を組み合わせた、他社模倣困難な都市部ニッチ市場向けモジュール型DCを展開。

- ✓ 都市型エンジニアリング｜振動・電磁波・鉄粉等の過酷環境下での遮音・防振・冷却技術（特許出願中）
- ✓ デジタルサプライチェーン｜BIM×規格化PCa工法により図面作成工数を約40%削減、超短工期施工を実現
- ✓ 2026年度1Q｜大井町線高架下にて実証実験を開始

目標　東急グループの強みを結集した都市型DCを収益成長の柱と位置づけ、建築事業の収益性と資本効率を高める

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

国内外の実績を活かし、東南・南アジアの交通インフラODA案件を獲得。
現地企業等との協業で事業基盤を強化し、インフラ周辺領域の事業機会を開拓。

事業の強み

- 東急線沿線の都市開発や国内外での鉄道・道路工事で培ったノウハウ・技術
- 日系ゼネコンとして高い技術力と品質管理能力を持つ

外部環境

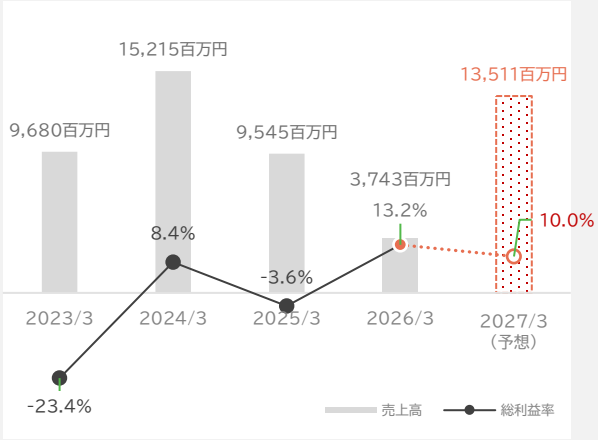
- 東南・南アジアにおけるインフラ整備ニーズの高まり
- アジア系建設会社の成長による受注競争
- 政変・為替・関税リスクなどの不確実性の高まり

重点戦略

- 本邦ODAによる基盤収益の確保
- 社会インフラ周辺領域における新たな事業機会の探索
- ローカルパートナーとの協業による事業基盤の強化
- 多様性・専門性を活かした組織・人材基盤の強化

主要業績（2027年3月期予想）

売上高	13,511百万円
売上総利益率	10.0%



開発案件パイプライン

進行中・受注活動中の代表案件を整理

ステータス	地域	分野	時期
進行中	フィリピン	地下鉄	2022～
進行中	バングラデシュ	道路・橋梁	2025～
受注	バングラデシュ	地下鉄	2026年度



Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

バングラデシュ初の地下鉄本線建設工事「ダッカMRT1号線 CP04」を受注。東南・南アジアの社会インフラ整備への貢献を通じ、持続的な成長を目指す。



▲ 契約調印式（2026年11月4日、ダッカ）

受注額（円換算）	工期	竣工予定
約764億円	60ヶ月（2027年4月頃～）	2032年

案件概要　空港線（地下12駅）とプルバチョール線（高架7駅）の2路線で構成。渋滞緩和と大気汚染の低減を通じ、ダッカ市の経済・社会発展に寄与。CP04工区は地下4駅、単線トンネル2本（約3.0km）。

当社の取り組み

- ✓ **受注体制**｜東急建設・Max Infrastructure Limited共同企業体（当社がスポンサー）
- ✓ **日本技術の適用**｜透かし掘り工法、ワンパスジョイント（トンネルセグメント）
- ✓ **同国での実績**｜車両基地造成2件、マタバリ港アクセス道路2工区（施工中）に続く同国4件目

地下鉄工事の当社実績（抜粋）

区分	工事名	概要	年
海外	ダッカ都市交通整備事業（1号線）CP04【今回受注】	地下4駅、単線トンネル2本（約3.0km）、受注額 約764億円	2026年受注（2032年竣工予定）
	マニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP104工区	地下2駅、地下トンネル約3.4km（フィリピン初の地下鉄、飛島建設等とJV）	2022年受注（2028年1月竣工予定）
	ジャカルタMRT（Mass Rapid Transit）	CP101 路線延長:1.2km CP102 路線延長:4.7km	2019年竣工
	バンコク地下鉄南工区	施工延長11.5km　駅舎建設9駅	2002年竣工
国内	東京メトロ銀座線 渋谷駅移設工事	線路切替を伴う駅移設。BIM/CIMを活用し令和元年度i-Construction大賞を受賞	2022年竣工
	東横線 渋谷～代官山間 地下化工事（土木工事第3工区）	副都心線との相互直通化。STRUM工法で地上線から地下線へ切替	2014年竣工
	東横線・副都心線 渋谷駅	発注者:東京急行電鉄・東京地下鉄	2010年竣工

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

築古不動産への環境性能を中心としたリノベーションにより資産価値を向上。安定した賃貸収入を確保するとともに、“循環型不動産モデル”を実現。

事業の強み

- 東急グループ各社と連携した中小型物件をメインターゲット
- 総合建設会社のシナジーを最大限活用した不動産開発・不動産バリューアッドを推進
- 省エネ技術の活用や、不動産の寿命化、安心安全な空間の提供など、付加価値を高めた価値提供

外部環境

- 建物の老朽化が進展
- 環境不動産ニーズが拡大
- 仕入、工事費の高騰による事業コスト増を懸念

直近の開発案件・トピックス

物件名	用途	エリア	取得時期
TQ天神北	賃貸オフィス	福岡市	2026年4月
TQレジデンス今里・TQレジデンス住之江公園	賃貸マンション	大阪市	2026年11月

重点戦略

建て替え・リノベーション、新規開発によるTQブランドの推進

- ✓ 環境性能が高く、快適性・機能性・デザイン性に優れた「TQブランド」展開による資産価値向上
- ✓ 建設事業とシナジーを活かした、さらなる付加価値創出

“循環型不動産モデル”の拡大に向けた取り組み

- ✓ 業容拡大に応じた専門人材の育成・補強によるサステナブルな体制づくり

ポートフォリオ最適化・エリア一極集中の回避

- ✓ 保有資産の資本効率アップとともに、用途別・エリア別でのポートフォリオ構築に向けた物件の適時入れ替え

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

再生エネルギー事業を中核に、新規事業の創出と収益化を加速。

戦略事業

新規事業

事業概略

再エネ事業（新規事業の中核）

- オンサイト・オフサイトPPA事業を展開
- 系統用蓄電池事業：相模原・茨城・千葉で稼働開始
- 太陽光発電設備（大分・鹿児島、3.5MW）を取得しアセット形成を加速

インキュベーション事業

- 2030年度までに10件の新規事業化を目標
- 社内の新規事業アイデアコンテスト発のスマート林業「TCFORECTION」を事業化（東京都あきる野市）

今後の方針

- 再エネ×蓄電池を組み合わせたエネルギーマネジメント事業へ展開
- 将来的には分散型電源をとりまとめ、脱炭素×防災に優れたまちづくりへ接続
- スタートアップ・異業種とのアライアンスにより、建設技術×外部知見で新たな社会価値を創出

新規事業（再エネ等）：トピックス



太陽光発電事業

建設現場・遊休地等を活用した太陽光発電設備の設置・運営



蓄電・エネルギーマネジメント

再エネと蓄電池の組み合わせによるエネルギー共有サービス



スマート林業・木材活用

林業DXと木材の建設利用による脱炭素・循環型事業

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

2027年3月期第2四半期　決算説明会

財務・資本戦略

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

資本コストを上回る付加価値を創出し、PBR1倍以上の定着・さらなる向上を目指す。

主要財務指標：目標と現在地

	目標	2026年3月期 実績
ROE	10%以上	12.6%
ROIC	7%以上	9.2%
PBR	1倍以上	1.47倍
自己資本比率	45%程度	35.9%
DOE（配当）	4%以上	4.0%

企業価値向上に向けたアプローチ

PBR
1倍以上

＝

ROE
-収益性-

×

PER
-市場評価-

収益体質強化
- コア事業の採算改善
- 戦略事業の利益貢献

生産効率向上
- 政策保有株式縮減
- 資産の戦略的入替

最適資本構成
- 成長投資優先の資金配分

企業価値
向上

市場評価向上
- 投資家との対話強化
- 情報発信拡充

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

成長投資を最優先しつつ、財務健全性と株主還元を両立。
総額1,870億円の成長投資計画に対し、各領域で着実に進捗。

01.キャッシュ創出源泉

創出したキャッシュを
成長投資・還元・財務健全性へ配分

健全性を維持しつつ機動的に対応
- D/Eレシオ：0.5倍以下

資産効率向上・資金創出
- 連結純資産に占める政策保有株式の比率を10%以下

本業からのキャッシュ創出
- 収益性の向上：2030年度に連結営業利益220億円を目指す



02.キャッシュ配分方針

成長投資を優先しながら
還元・健全性を両立

コア事業・戦略事業・人材DXへ重点配分
- コア事業　350億円
- 戦略事業　780億円
- 人材・DX投資　740億円

DOE4.0%以上を基本に安定還元
- 財務健全性：自己資本比率・D/Eレシオを意識

03.成長投資の進捗

投資総額**1,870億円**
（長期計画）

コア事業 | 収益力強化・高付加価値化
42%　（投資予定額）350億円

戦略事業 | 国際・不動産・新規事業
27%　（投資予定額）780億円

人材・DX | 人的資本・生産性向上
38%　（投資予定額）740億円

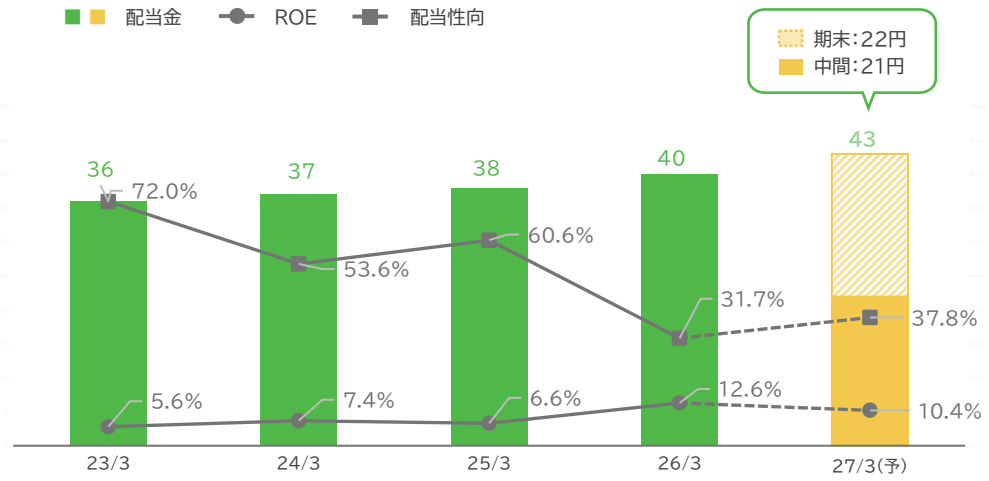
Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

年間配当金は、1株当たり43円を予定（前期比3円増配）。
成長投資と財務健全性を確保し、DOE4.0%以上の継続的な株主還元を実施。

1株当たり配当金の推移

安定的な配当水準の維持・向上



DOE4.0%以上の設定根拠

資本効率目標と還元目安の均衡点として設定

DOE
（安定的・継続的な配当基準）

4.0%以上

ROE（資本効率目標）	×	配当性向（還元目安）
10.0%程度		40.0%以上

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

強固な収益基盤と変革への挑戦により、持続的な企業価値向上を実現。



代表取締役社長 社長執行役員 **久田 浩司**

重点方針

01.顧客価値を起点とした高収益体質の定着

採算性・将来性・当社の強みを発揮できる案件を見極め、受注の質と施工採算を重視した経営を徹底。
お客様の価値向上に資する現場力を高め、持続的に利益を生み出す収益基盤を構築する。

02.人材×デジタルを競争優位の源泉に

人的資本・DX投資を通じて、自律的に挑戦し成長できる人材と、デジタルによる生産性向上を両立し、成長を支える経営基盤を強化する。

03.「Beyond 渋谷」による持続的成長

渋谷で培った「都市機能を止めない技術」とまちづくりノウハウを、国内外の都市更新・不動産・再エネ等の成長領域へ展開。
「建てる」を超え、未来を生み出す企業グループへの進化を目指す。

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

2027年3月期第2四半期　決算説明会

Appendix

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

2023年度からの3カ年を「稼ぐ力の再構築」期間として、5つの重点戦略を推進。

取り組みの流れ

背景・課題

品質問題の反省 / リソース制約 / 担い手不足

現場力の強化

安全・品質 / 営業力 / 生産性 / リニューアル / 人 材

成 果

- 完成工事総利益率の改善
- 収益力向上の基盤

5つの重点戦略の成果と成長への貢献

01.安全・品質	**逸失利益の発生防止** 安全・品質の徹底を起点とした施工管理体制の強化により、手戻り・是正コストを削減し、不採算案件の発生抑制と収益安定化を実現
02.営業力	**受注時採算性の向上** 渋谷再開発、データセンター、山岳トンネル等の注力分野において、採算性を重視した受注を推進
03.生産性・労働力	**施工リソースの安定確保** 本部・支店支援、協力会社との連携、BIM/CIM活用により、高難易度案件に対応する施工体制の強化を推進
04.建築リニューアル	**安定収益基盤の構築** ストック市場における受注機会を捉え、建築リニューアル事業の収益力強化を推進
05.人材投資	**人材獲得・定着の強化** 長計期間の人材・DXへの投資を100億円→740億円に大幅拡充し、処遇改善、人材育成、デジタル活用による生産性向上を推進

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

2021年度の品質問題を踏まえ、再発防止策の継続実施と組織風土改革を推進。品質管理体制・人材育成・責任明確化・風土改革の両面から信頼回復に取り組む。

品質問題と再発防止策

品質問題の概要：2021年度、駅改良工事における基礎杭先端不良・データ改ざん等の品質問題が発生。

原因（4分類）：認識・管理不足 / 品質意識・倫理観 / コミュニケーション不足 / 現場支援不足

再発防止4本柱

1. 施工品質管理体制の強化
   - 品質管理部門の新設
   - 現場支援体制の構築
2. 情報共有・人材育成の強化
   - 事故速報・内部通報
   - 教育プログラムの見直し
3. 責任の明確化
   - 役員報酬の一部自主返上等
   - 責任所在の明確化
4. 組織風土の改革
   - コンプライアンス教育
   - 経営と従業員の対話

信頼回復

再発防止策4本柱を継続実施し、品質管理体制と組織風土の両面から信頼回復を推進

風土改革・今後の方針



風土改革啓発センター

今後の方針

- 再発防止策の定着状況を継続モニタリング
- 全従業員教育を通じた風土改革の推進
- 品質管理体制と現場支援の継続強化

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

株主資本コスト（CAPM推計）

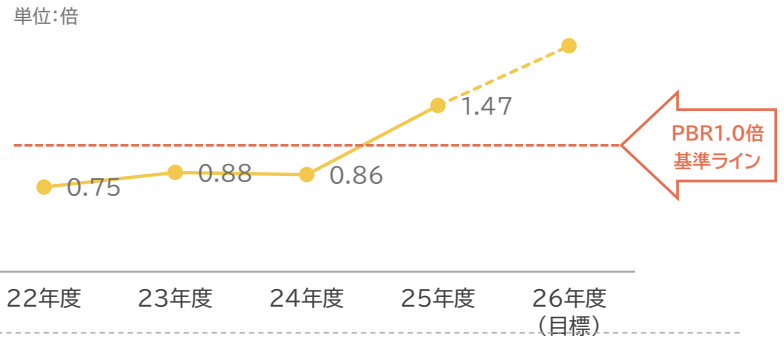
推計結果

5.5%～6.5%

CAPM計算式

株主資本コスト
＝
リスクフリーレート（1.3%程度）
＋
β × 市場リスクプレミアム
0.65×6.45%

PBR推移



政策保有株式

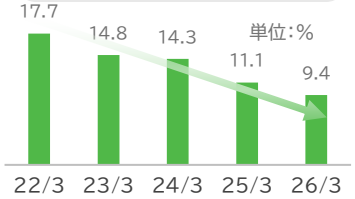
純資産比率

連結純資産比率10%以下の
目標を前倒しで達成

9.4%

2026年3月末実績

純資産比率の推移



方針　保有意義を定期検証・縮減を継続・資本効率向上に資する運用

PBR改善に向けた施策（進捗確認）

施策	ステータス
ROE向上	収益力改善と資本効率向上
成長投資・ポートフォリオ変革	人的資本、戦略事業への投資拡大
株主還元強化	DOE基準の安定還元継続
IR・市場対話強化	投資家対話と開示の拡充

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

（単位：百万円）	連結 2026年3月期 2Q 実績	連結 2026年3月期 2Q 売上構成比	連結 2027年3月期 2Q 実績	連結 2027年3月期 2Q 売上構成比	連結 前年同期比※	個別 2026年3月期 2Q 実績	個別 2026年3月期 2Q 売上構成比	個別 2027年3月期 2Q 実績	個別 2027年3月期 2Q 売上構成比	個別 前年同期比※
売上高	**150,073**	**—**	**146,191**	**—**	△3,882 △2.6%	**141,475**	**—**	**137,268**	**—**	△4,207 △3.0%
完成工事高	148,007	98.6%	144,717	99.0%	△3,289 △2.2%	139,666	98.7%	135,983	99.1%	△3,682 △2.6%
└ 建築	115,825	77.2%	111,407	76.2%	△4,418 △3.8%	107,485	76.0%	102,673	74.8%	△4,811 △4.5%
└ 土木	32,181	21.4%	33,310	22.8%	+1,128 +3.5%	32,181	22.7%	33,310	24.3%	+1,128 +3.5%
不動産事業等売上高	2,066	1.4%	1,474	1.0%	△592 △28.7%	1,809	1.3%	1,284	1.0%	△524 △29.0%
売上総利益	**15,422**	**10.3%**	**17,030**	**11.6%**	+1,607 +10.4%	**14,277**	**10.1%**	**15,711**	**11.4%**	+1,434 +10.0%
完成工事総利益	14,966	10.1%	16,663	11.4%	+1,696 +11.3%	13,832	9.9%	15,338	11.3%	+1,506 +10.9%
└ 建築	—	—	—	—	—	9,849	9.2%	11,587	11.3%	+1,737 +17.6%
└ 土木	—	—	—	—	—	3,983	12.4%	3,751	11.3%	△231 △5.8%
不動産事業等総利益	456	22.1%	366	24.9%	△89 △19.6%	444	24.6%	372	29.0%	△72 △16.2%
販売費及び一般管理費	10,275	6.8%	11,397	7.8%	+1,121 +10.9%	9,488	6.7%	10,668	7.8%	+1,179 +12.4%
営業利益	**5,146**	**3.4%**	**5,632**	**3.9%**	+485 +9.4%	**4,788**	**3.4%**	**5,043**	**3.7%**	+254 +5.3%
経常利益	**5,560**	**3.7%**	**5,814**	**4.0%**	+253 +4.6%	**5,339**	**3.8%**	**5,392**	**3.9%**	+52 +1.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	**4,108**	**2.7%**	**3,882**	**2.7%**	△225 △5.5%	**4,067**	**2.9%**	**3,744**	**2.7%**	△323 △7.9%

※上段は増減額、下段は増減率

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

（単位：百万円）	連結 2026年3月期 実績	連結 2026年3月期 売上構成比	連結 2027年3月期 予想（修正後）	連結 2027年3月期 売上構成比	連結 前年同期比※	個別 2026年3月期 実績	個別 2026年3月期 売上構成比	個別 2027年3月期 予想（修正後）	個別 2027年3月期 売上構成比	個別 前年同期比※
売上高	**341,181**	—	**334,000**	—	△7,181 △2.1%	**316,147**	—	**307,000**	—	△9,147 △2.9%
完成工事高	333,588	97.8%	326,000	97.6%	△7,588 △2.3%	309,422	97.9%	300,000	97.7%	△9,423 △3.0%
└ 建築	259,236	76.0%	—	—	—	235,071	74.4%	220,000	71.7%	△15,072 △6.4%
└ 土木	74,350	21.8%	—	—	—	74,350	23.5%	80,000	26.0%	+5,649 +7.6%
不動産事業等売上高	7,593	2.2%	8,000	2.4%	+407 +5.4%	6,274	2.1%	7,000	2.3%	+726 +11.6%
売上総利益	**37,643**	11.0%	**41,400**	12.4%	+3,757 +10.0%	**33,528**	10.6%	**37,100**	12.1%	+3,571 +10.7%
完成工事総利益	36,050	10.8%	40,400	12.4%	+4,350 +12.1%	32,024	10.6%	36,300	12.1%	+4,276 +13.4%
└ 建築	—	—	—	—	—	19,539	8.3%	26,300	12.0%	+6,760 +34.6%
└ 土木	—	—	—	—	—	12,484	16.8%	10,000	12.5%	△2,484 △19.9%
不動産事業等総利益	1,593	21.0%	1,000	12.5%	△593 △37.2%	1,504	22.4%	800	11.4%	△704 △46.8%
販売費及び一般管理費	21,336	6.3%	23,400	7.0%	+2,064 +9.7%	19,830	6.3%	21,900	7.1%	+2,070 +10.4%
営業利益	**16,306**	4.8%	**18,000**	5.4%	+1,693 +10.4%	**13,698**	4.3%	**15,200**	5.0%	+1,502 +11.0%
経常利益	**17,552**	5.1%	**18,300**	5.5%	+747 +4.3%	**14,537**	4.6%	**15,000**	4.9%	+462 +3.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	**13,390**	3.9%	**12,100**	3.6%	△1,290 △9.6%	**11,571**	3.7%	**10,100**	3.3%	△1,472 △12.7%

※上段は増減額、下段は増減率

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

（単位：百万円）	連結 2027年3月期 期初予想	連結 2027年3月期 売上構成比	連結 2027年3月期 修正予想	連結 2027年3月期 売上構成比	連結 期初予想比※	個別 2027年3月期 期初予想	個別 2027年3月期 売上構成比	個別 2027年3月期 修正予想	個別 2027年3月期 売上構成比	個別 期初予想比※
売上高	**334,000**	—	**334,000**	—	—	**307,000**	—	**307,000**	—	—
完成工事高	326,000	97.6%	326,000	97.6%	—	300,000	97.7%	300,000	97.7%	—
└ 建築	—	—	—	—	—	220,000	71.7%	220,000	71.7%	—
└ 土木	—	—	—	—	—	80,000	26.0%	80,000	26.0%	—
不動産事業等売上高	8,000	2.4%	8,000	2.4%	—	7,000	2.3%	7,000	2.3%	—
売上総利益	**38,800**	11.6%	**41,400**	12.4%	+2,600 +6.7%	**34,500**	11.2%	**37,100**	12.1%	+2,600 +7.5%
完成工事総利益	37,800	11.6%	40,400	12.4%	+2,600 +6.9%	33,600	11.2%	36,300	12.1%	+2,700 +8.0%
└ 建築	—	—	—	—	—	24,600	11.2%	26,300	12.0%	+1,700 +6.9%
└ 土木	—	—	—	—	—	9,000	11.3%	10,000	12.5%	+1,000 +11.1%
不動産事業等総利益	1,000	12.5%	1,000	12.5%	—	900	12.9%	800	11.4%	△100 △11.1%
販売費及び一般管理費	22,300	6.7%	23,400	7.0%	+1,100 +4.9%	20,800	6.8%	21,900	7.1%	+1,100 +5.3%
営業利益	**16,500**	4.9%	**18,000**	5.4%	+1,500 +9.1%	**13,700**	4.5%	**15,200**	5.0%	+1,500 +10.9%
経常利益	**16,800**	5.0%	**18,300**	5.5%	+1,500 +8.9%	**13,500**	4.4%	**15,000**	4.9%	+1,500 +11.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	**11,000**	3.3%	**12,100**	3.6%	+1,100 +10.0%	**9,100**	3.0%	**10,100**	3.3%	+1,000 +11.0%

※上段は増減額、下段は増減率

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

個別受注高(予想)

(単位:百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 通期予想	対前年 増減額
建築 合計	**303,808**	344,000	+40,192
国内官公庁	49,337	10,000	△39,337
国内民間	254,462	333,944	+79,482
└内、一般民間	172,151	313,944	+141,793
└内、東急グループ	82,310	20,000	△62,310
海外	8	56	+47
土木 合計	**105,136**	142,500	**+37,364**
国内官公庁	52,614	41,700	△10,914
国内民間	50,545	24,800	△25,745
└内、一般民間	41,046	12,800	△28,246
└内、東急グループ	9,499	12,000	+2,501
海外	1,976	76,000	+74,024
建設事業 合計	**408,944**	**486,500**	**+77,556**

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

個別受注高(実績・発注者別)

(単位:百万円)	中間会計期間 2025年3月期	中間会計期間 2026年3月期	中間会計期間 2027年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率	通期予想
建築 合計	87,157	122,218	**50,864**	△71,354	△58.4%	**344,000**
国内官公庁	27,557	12,119	**1,362**	△10,756	△88.8%	**10,000**
国内民間	59,572	110,091	**49,445**	△60,645	△55.1%	**333,944**
└内、一般民間	56,152	34,823	**45,467**	+10,643	+30.6%	**313,944**
└内、東急グループ	3,419	75,267	**3,978**	△71,288	△94.7%	**20,000**
海外	28	8	**56**	+47	+588.8%	**56**
土木 合計	33,891	33,720	**33,837**	+117	+0.3%	**142,500**
国内官公庁	17,900	13,732	**13,725**	△7	△0.1%	**41,700**
国内民間	16,335	20,143	**20,995**	+852	+4.2%	**24,800**
└内、一般民間	7,899	15,918	**9,955**	△5,962	△37.5%	**12,800**
└内、東急グループ	8,436	4,224	**11,039**	+6,814	+161.3%	**12,000**
海外	△ 344	△ 154	**△882**	△728	−	**76,000**
建設事業 合計	121,048	155,939	**84,702**	△71,237	△45.7%	**486,500**
国内官公庁	45,457	25,851	**15,088**	△10,763	△41.6%	**51,700**
国内民間	75,908	130,234	**70,441**	△59,793	△45.9%	**358,744**
└内、一般民間	64,051	50,742	**55,422**	+4,680	+9.2%	**326,744**
└内、東急グループ	11,856	79,492	**15,018**	△64,473	△81.1%	**32,000**
海外	△ 316	△ 146	**△826**	△680	−	**76,056**

※△(マイナス)となっているのは、前期以前の契約について見直しを行ったことによるものであります。

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

(単位:百万円)	中間会計期間 2025年3月期	中間会計期間 2026年3月期	2027年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
建築 合計	87,157	122,218	**50,864**	△71,354	△58.4%
事務所・庁舎	9,241	8,861	**12,524**	+3,663	+41.3%
宿泊施設	2,362	3,088	**5,539**	+2,450	+79.4%
店舗	3,826	70,712	**1,513**	△69,198	△97.9%
工場・発電所	2,194	2,719	**5,002**	+2,283	+84.0%
倉庫・流通施設	15,971	1,001	**2,682**	+1,681	+167.8%
住宅	22,584	7,403	**4,830**	△2,572	△34.7%
教育・研究・ 文化施設	5,588	16,298	**6,715**	△9,582	△58.8%
医療・福祉施設	25	468	**44**	△423	△90.4%
娯楽施設	100	1,136	**47**	△1,088	△95.8%
その他	25,262	10,528	**11,962**	1,433	13.6%
土木 合計	33,891	33,720	**33,837**	117	0.3%
治山・治水	11	902	**—**	△902	△100.0%
鉄道	10,199	17,781	**12,944**	△4,836	△27.2%
上水道・下水道	10,524	4,856	**3,844**	△1,012	△20.8%
土地造成	28	78	**84**	5	6.8%
港湾・空港	—	—	**—**	—	—
道路	7,727	7,291	**7,968**	676	9.3%
電線路	1,835	2,151	**427**	△1,723	△80.1%
その他	3,563	658	**8,569**	7,910	—
建設事業 合計	121,048	155,939	**84,702**	△71,237	△45.7%

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

	発注者	工事名	工事場所
建築	学校法人実践女子学園	学校法人実践女子学園渋谷校地整備計画のうち新棟建築工事	東京都
建築	三菱地所株式会社	(仮称)中央区東日本橋3丁目ホテル開発計画新築工事	東京都
建築	野村不動産株式会社	(仮称)H¹O名古屋新築工事	愛知県
建築	北海道エアポート株式会社	新千歳空港連絡施設3階商業改修工事	北海道
建築	プリマハム株式会社	プリマハム株式会社茨城工場排水処理施設建設工事	茨城県
建築	芙蓉実業株式会社	芙蓉実業株式会社相模原事業所新築工事	神奈川県
建築	学校法人五島育英会	東京都市大学世田谷キャンパス6号館新学環改修工事	東京都
土木	東京都	上目黒幹線その2工事	東京都
土木	中日本高速道路株式会社	中央自動車道瑞浪IC～小牧東IC間のり面補強工事(2025年度)	岐阜県
土木	中央日本土地建物株式会社	内幸町一丁目街区南地区第一種市街地再開発事業に係る都営三田線内幸町駅連絡通路の整備及び駅施設等の改修に関する土木工事	東京都
土木	京成電鉄株式会社	京成高砂駅ホームドア整備に伴う土木工事(その8)	東京都
土木	東急電鉄株式会社	東横線・目黒線元住吉車庫浸水対策工事(土木工事)	神奈川県

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

（単位:百万円）	2026年3月末	2026年9月末	増減額
資産合計	**310,849**	**284,435**	**△26,414**
流動資産	253,716	213,827	△39,889
有形・無形固定資産	22,031	33,540	+11,509
投資その他の資産	35,101	37,066	+1,965
負債・純資産合計	**310,849**	**284,435**	**△26,414**
流動負債	193,637	165,845	△27,791
固定負債	4,536	4,095	△440
純資産	112,676	114,494	+1,818
自己資本比率	**35.9%**	**39.8%**	**+3.9pt**
有利子負債	**36,067**	**29,026**	**△7,040**
D/Eレシオ	**0.32倍**	**0.25倍**	**△0.07**
ネットキャッシュ	**13,519**	**16,284**	**+2,764**

主な増減要因

流動資産
- 現金預金 △4,276
- 受取手形・完成工事未収入金等 △42,980
- 未成工事支出金 +3,859

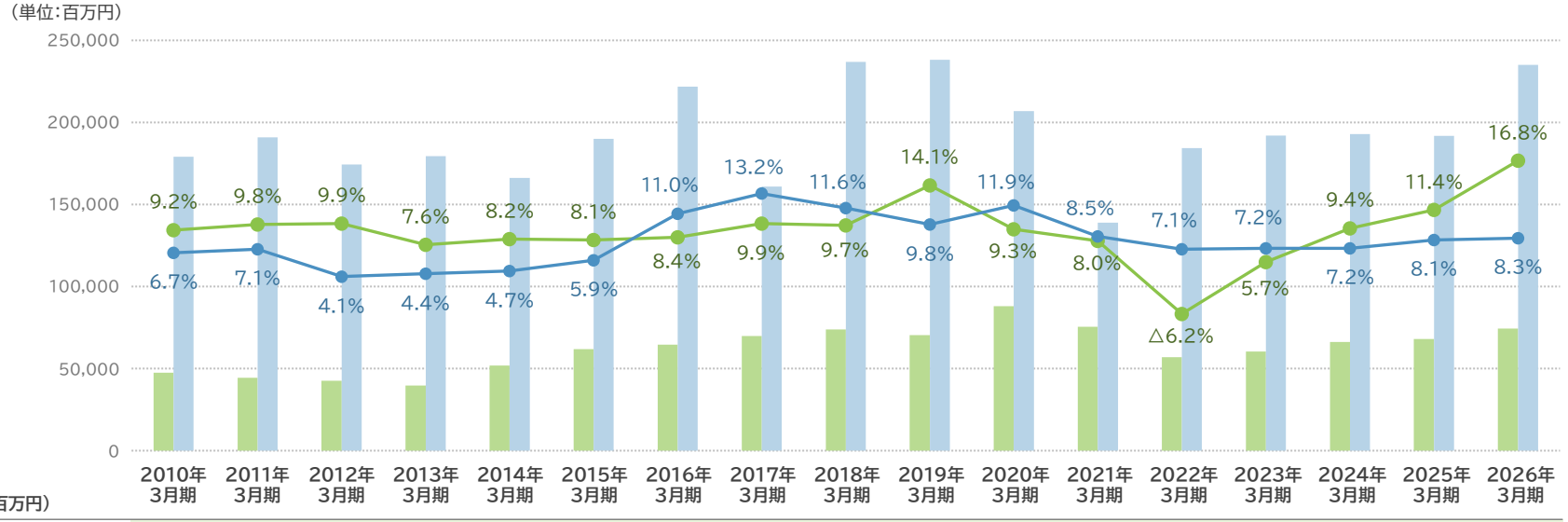
固定資産
- 建物及び構築物 +5,315
- 土地 +5,986

流動負債
- 支払手形・工事未払金等 △11,954
- 未成工事受入金 +1,057
- 電子記録債務 △4,389
- 預り金 △7,549
- 工事損失引当金 △247
- 短期借入金 △6,999

純資産
- 利益剰余金 +1,649

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社



(百万円)	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
土木・完工高	47,583	44,445	42,597	39,737	51,932	61,864	64,626	69,845	73,863	70,381	88,078	75,568	56,886	60,325	66,299	68,116	74,350
土木・総利益率	9.2%	9.8%	9.9%	7.6%	8.2%	8.1%	8.4%	9.9%	9.7%	14.1%	9.3%	8.0%	△ 6.2%	5.7%	9.4%	11.4%	16.8%
建築・完工高	179,082	190,822	174,460	179,514	166,128	190,082	221,870	160,890	236,898	238,241	206,956	138,991	184,407	192,052	192,909	191,764	235,071
建築・総利益率	6.7%	7.1%	4.1%	4.4%	4.7%	5.9%	11.0%	13.2%	11.6%	9.8%	11.9%	8.5%	7.1%	7.2%	7.2%	8.1%	8.3%
完成工事総利益率	7.2%	7.6%	5.2%	5.0%	5.5%	6.5%	10.4%	12.2%	11.2%	10.8%	11.2%	8.3%	4.0%	6.8%	7.7%	9.0%	10.3%
東急グループの完成工事高比率	22.2%	22.8%	23.8%	21.2%	15.5%	11.6%	10.0%	14.8%	25.0%	22.6%	17.5%	13.7%	12.7%	9.9%	12.8%	10.3%	10.0%

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

株主・投資家との建設的な対話の実施・積極的な開示により情報の非対称性を低減。企業価値向上のためIR活動で得た意見は経営層と取締役会へ共有し議論。

主な活動状況

	1Q	2Q	3Q	4Q
情報開示	・決算参考資料 ・決算説明会	・決算参考資料 ・統合報告書発行	・決算参考資料 ・第2四半期決算説明会	・決算参考資料
対話	・事業説明会 ・従業員向け決算説明会	・事業説明会	・事業説明会 ・従業員向け決算説明会	・現場見学会 ・株主機関投資家との建設的な対話

Qごとのアクション
IR活動実績、株主・投資家意見の報告、社内関係部署への情報共有

年間対応（随時）
積極的なニュースリリース、コーポレートサイトサイト充実、問合せ・アンケート対応

年間対応（随時）
IR個別面談、（社内）関係部署へのヒアリング・作業所訪問

経営のPDCAへの活用

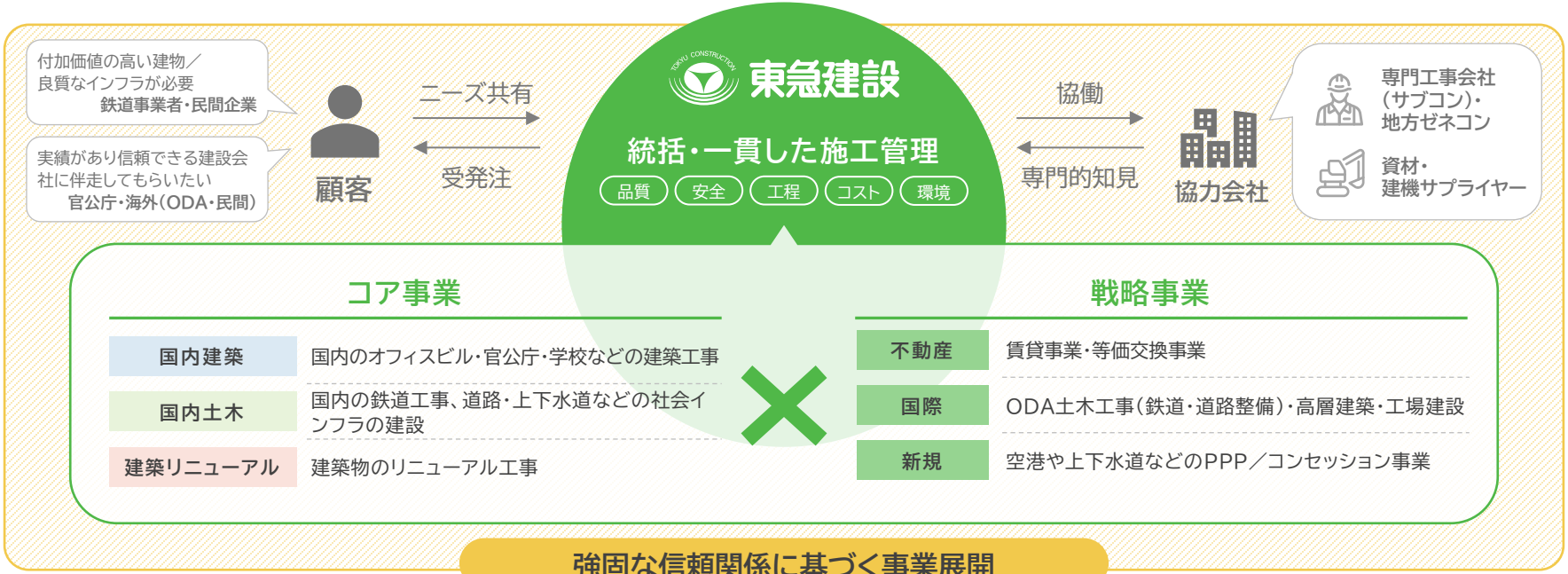


IR活動を通じ、株式市場との相互理解・信頼関係を構築

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

東急建設株式会社

官公庁・民間企業発注の一品受注生産の工事を、専門工事会社と協働して完成。安全・品質・コスト・工期・環境を統括して施工管理し、満足いただけるものを提供。



強固な信頼関係に基づく事業展開

✓ 一品受注生産の建設　✓ 安全・安心の社会インフラ構築

Copyright(C) Tokyu Construction. All rights reserved.

注意事項

本資料に掲載されている当社の業績に関する予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

「建てる」を超え、未来を生みだす。

東急建設

経営戦略本部
コーポレート・コミュニケーション部
西田／森田／保坂
☎ 03－5466－5008
✉ webmaster@tokyu-cnst.co.jp



統合報告書



決算参考情報等
（IR情報）

コーポレートサイト